

中央社保協ニュース

18-2号 発行・2018年7月18日 中央社会保障推進協議会

14日恒例、巣鴨での署名宣伝行動

もう自民党への支持をやめた！の声も

中央社保協と東京社保協が毎月14日に行なう巣鴨宣伝は、7月は土曜日ということで巣鴨商店街入口で11時～13時の2時間で行ないました。参加者は、全体で48人(東京社保協32人～東京土建25名、東京民医連3名、東京地評2名、事務局2名／中央社保協16人～年金者組合7名、日本医労連2名、全労連1名、保団連1名、新婦人1名、事務局4名)でした。猛暑の中でしたが、25条署名は82筆の協力をいただき、年金者組合による年金相談は4人でした。併せて「西日本水害被災地支援募金」は10,706円の協力がありました。

募金の中にはお地藏さんへと集めた小銭が入ったビニール袋をそのまま「被災地へ」と募金箱へと入れた高齢の女性など暖かい心が届けられました。

署名活動では、東京土建からの参加の方が1人で31筆を集める大奮闘。様子を見てみると、歩いてくる方の前にそれとなくスーと出で“やさしく”署名板を出される姿が感動的でした。署名活動の秘訣は「やさしさ」ではないかと思いました。また、東京民医連からの参加者はティッシュを配りながら色んな方と話し込んでいました。「以前は自民党に投票していたが、今の政治の実態を見て支持するのをやめた」などの声があったとのことでした。中央社保協では、写真のような「安心して生きられる国へ」ティッシュを作成しました。大好評です。是非、各団体、社保協でもご活用下さい。(なお、1個10円です)

マイクを握っての訴えは、中央社保協、東京社保協、東京土建、全労連、東京地評、日本医労連、日本年金者組合、東京民医連からありました。なお、8月14日は中止し、次回は9月14日です。



「安心して生きられる国へ」
～社会保障拡充を求める25条署名
宣伝用ポケットティッシュ

1個10円(送料別途)

【500個単位で1箱です】

※お問合せ先

03-5808-5344(中央社保協)



第46回中央社保学校へ参加を！

<2日目近畿ブロック企画・シンポジウム>

「地域からの反撃を～すべての地域に社保協を」

中央社保協は第62回総会で「全国津々浦々に社保協の旗を掲げよう！」を確認しました。現在全国1741自治体の中に社保協の旗を掲げ、住民のいのちと暮らしを守ってたたかっている組織は415（準備・友好組織含む）、全自治体の24%です。総会では「過半数の自治体に社保協の旗を掲げよう！」を呼びかけました。2018年の社保学校の2日目（9月7日）の企画は「自治体から学ぶ」を受け、「地域からの反撃を～すべての地域に社保協を」をテーマに近畿ブロックから各県でどのように地域社保協を結成してきたか、その豊かな経験を学び今後の活動に活かそう、の企画です。「自治体キャラバンを通じて全ての自治体に社保協を結成」（大阪）、「『国保何でも電話相談』など地域社保協が独自に相談会を開催」（兵庫）、「住民要求実現へ地域社保協結成」（和歌山）、「全ての自治体をキャラバンで訪問し社保協結成を呼びかける」（奈良・滋賀）、「全府いっせいの『暮らし何でも相談会』を11地域26会場で開催」（京都）など近畿ブロックの豊かな活動を学び全国津々浦々に社保協の旗を掲げ憲法25条を守り、活かす活動を広げましょう！

憲法改悪許すな
国の責任で社会保障制度の
拡充と財源の確保を！
第46回
中央社会保障学校
2018年9月6日(水)～8日(土)
ピアザ高野ホール 高野町2-1-10 高野駅南口徒歩1分 TEL: 077-527-1271

明日からの活動に役立つ企画がいっぱい！
現場・地域から聞いて学ぶ参加しよう！

1日目 9月6日(水) 13:30～17:00
● 午前講座：13:45～
「景況死に向かう日本経済
～政策がもたらす野郎効果～」
氏 野村浩正(元NHK)
● 午後講座：15:20～
「憲法改悪許すな
つゆ、25歳いひず政治を
～スウェーデンから学ぶ～」
氏 氏 一丸(元NHK)

2日目 9月7日(木) 9:30～15:00
● 9:30～12:00
「自治体から学ぶ」
「憲法改悪許すな」
「地域からの反撃を
～すべての地域に社保協を～」
● 12:00～14:45
「暮らし何でも相談会」
● 15:00～17:00
「暮らし何でも相談会」
● 17:00～18:00
「暮らし何でも相談会」

3日目 9月8日(土) 9:30～15:00
「暮らし何でも相談会」
「暮らし何でも相談会」
「暮らし何でも相談会」

主催 中央社会保険協会の会連合会
協賛 近畿ブロック中央社会保険協会の会連合会
共催 中央社会保険協会の会連合会

各県社保協ニュースなど、どんどん更新中！

中央社保協のホームページが話題満載

中央社保協ホームページをご覧になっていませんか？今、各県・地域の社保協や団体のニュースなどが“リアルタイムで見れる”と注目です。各県社保協や団体でのニュースや情報をどんどん送っていただき、中央社保協ホームページで活動交流をしましょう。

千葉県社保協から送っていただいた「社保協通信」など、これまで沖縄、福岡、広島、愛媛、大阪、和歌山、奈良、神奈川、東京、埼玉、長野などからの情報を掲載しています。各県からの情報提供をお待ちしています。

千葉県社保協通信

2018年度 No.3 2018年 7月12日号
〒280-0854 千葉市中央区長洲1-10-6 自治体福祉むすび3F
TEL: 043-225-6790 FAX: 043-221-0138 Eメール: spn1802008@star.ocn.ne.jp

くらしの場の拡充と医療費助成の改善を求め

要請署名 18,446筆を提出 — 陣千連・県社保協 —

障害者の生活と権利を守る千葉県連絡協議会(陣千連：天海正克代表)と千葉県社保協は7月10日、「くらしの場の拡充と医療費助成の改善を求める」県知事宛要請書を18,446筆の署名を添えて提出。健康福祉部長らと懇談しました。要請項目は、「①グループホームや入所・通所施設などの拡充 ②福祉・介護従事者の賃金の大幅引き上げ、処遇改善と職員の労働環境の改善 ③県の障害者心身障害者医療費助成制度の一部負担率や年齢制限の撤廃、精神障害者を対象に加えるなどの改善」です。

署名を受け取った横山正博健康福祉部長は、「障害者権利条約の批准など障害者施策の前進が図られる一方で、置かれている現状を考えるとまだまだ課題も多い。みなさんの意見を参考にしたい」と話しました。総会では、陣千連の天海代表が、医療費助成制度に精神障害者を対象に加えるよう求める請願が6月県議会では採択されたことに触れ、「現物給付化の勢には請願採択から3年もかかった。今度は速やかに実施してもらいたい」と訴えました。県は「昨年の県の調査で、半数の市町村が精神障害者を対象に加えることに反対していた。あらためて市



○中央社保協ホームページ

<http://shahokyo.jp/>

※フェイスブックも更新中です。

「いいね」をよろしく。